

※無回答や重複回答の項目があるため、合計数字は一致しない。

問1 学校種別	小学校	中学校	特支(小)	特支(中)	特支(高)	その他	無回答	計
	①	②	③	④	⑤	⑥		
	105	0	0	0	0	0	0	105

その他

問2-1 職種	特別支援教 管理職	育コーディ ネーター	その他	無回答	計
	①	②	③		
	36	69	1	0	106

その他

知的特別支援学級担任

問2-2 経験年数	6ヶ月未満	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	経験なし	無回答	計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
	0	4	7	12	27	52	1	2	105

問3 発達障害児童生徒の在籍	YES	可能性あり	NO	無回答	計
	①	②	③		
	100	5	0	0	105

問4 専門職の特性調べ把握	YES	NO	無回答	計
	①	②		
	102	3	0	105

副問4-1 特性 把握方法	行動観察	聞き取り	関係機関か ら引継ぎ	その他	無回答	計
	①	②	③	④		
	89	90	96	2	1	278

その他
保護者からの聞き取り
個別の教育支援計画

問5 検査を行い 活用	両方実施	活用のみ	活用せず	無回答	計
	①	②	③		
	20	76	8	1	105

MSPA

副問5-1 検査 (MSPA)	①
	5

副問5-1 検査 (知能・発達)	WISC	WAIS	田中ビネー K式	K-ABC	DN-CAS	遠城寺式	ポーターシP	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	83	1	80	0	1	3	1	0

副問5-1 検査 (適応行動)	Vineland S-M	ASA	
	①	②	③
	0	69	0

	SDQ	CBCL	ABC-J	感覚7 ^o 7
副問5-1 検査 (情緒と行動)	①	②	③	④
	2	0	0	0

	M-CHAT	PARS	CARS	ADOS	AQテスト	PEP-3	TTAP	ADI-R
副問5-1 検査 (自閉症スペクトラム)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	1	1	3	0	1	0	0	0

	ADHD-RS	CAARS	LDI-R	CRT	音読検査	ITPA	PVT-R	JMAP	JPAN	無回答	計
副問5-1 検査 (その他)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
	8	0	6	45	1	1	6	0	0	1	319

	YES	NO	無回答	計
問6 特性把握	①	②		
	101	3	1	105

	行動観察	聞き取り	関係機関から引継ぎ	その他	無回答	計
副問6-1 特性把握方法	①	②	③	④		
	94	94	88	1	0	277

その他 校内の情報共有

	YES	NO		
問7 手立て	①	②	無回答	計
	104	0	1	105

	スケジュール・カレンダー 事前確認	予定変更の 確認	コミュニケーション等	場所の区分 手順表	作業区分、休憩 確認	手帳・メモ	イヤホン等	カメラ・ウェブカメラ	人に頼む、得意に集中	
副問7-1 手立て種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	97	86	67	42	48	57	28	37	79	26

	周囲と関わる練習	周囲に特性を伝える	その他	無回答	計
その他	⑪	⑫	⑬		
	56	31	2	0	656

発達障害について啓発学習を行っている。

周りに頼るスキル、また、断る時のスキルについて確認、練習をしている。

	YES	NO		
副問7-2 ツール	①	②	無回答	計
	93	8	3	104

	コミュニケーション	筆談	スケジュールボード等	スマホ・タブレット	PC	VOCA	タイマー	イヤホン	サングラス	その他	無回答	計
副問7-2-1 ツール種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
	64	40	85	43	13	1	72	35	2	1	0	356

その他 ストップウォッチ

YES NO

副問7-3 難しさ

①	②	無回答	計
81	18	5	104

正しいやり方不明 相談・指導者不在 毎日億劫 準備時間ない 行動変化ない 他の人と違って抵抗 話せば分かるのでは その他

副問7-3-1 どのようなことに難しさ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
27	18	5	39	28	10	6	10	1	144

その他

そのやり方や手立てが本当に適切なのか迷うことがある。
取り出しがしにくい 本人がいやがる
保護者が他者と違う対応をとることを否定的に受け止めているため、実践しづらい。
他の人と異なる対応に対して、本人が抵抗を感じている。
手立てがいつも役立つとも限らない
ほかの児童への指導がおろそかになることがある。
通常級で対応している状況にあり、かつ、対象人数が多すぎて、個別対応が困難である。
その時々でうまくいく場合とうまくいかない場合がある
変化がないわけではないが、手立てが児童にとって有効に働いているのか、もっとよい方法があるのではないかと感じる。
取った手立ての有効性や、よりよい支援の方法など、具体的な達成目標が設定しにくい
該当児童の特性に応じた手だてを工夫しているが、その適正や効果検証が難しい。

YES NO

問8 必要な手立て
で支援者と連携

①	②	無回答	計
95	9	1	105

副問8-1 連携
予定

①	②	③	無回答	計
0	3	5	1	9

予定あり 予定なし 希望だがど
うすれば

問9 専門機関
からの指導

①	②	無回答	計
82	20	3	105

YES NO

副問9-1 指導
予定

①	②	③	無回答	計
1	11	7	1	20

予定あり 予定なし 希望だがど
うすれば

問10 相談相手

①	②	無回答	計
98	4	3	105

YES NO

副問10-1 相
談相手種類

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
18	0	2	9	50	18	21	48	71	73

医師 看護師 病院のソ
シャルワ
ーカー 病院の心理
職 発達障害専
門機関職員 相談支援専
門員 福祉サービ
ス支
援者 教育委員
会 学校の教
員 スクール
カウンセ
ラー

スクール
 ソーシャル
 ワーカー
 当事者・家族
 会
 家族
 その他

⑪	⑫	⑬	⑭	無回答	計
0	48	5	41	1	405

その他
 児童養護施設の関係者
 臨床心理士(2)

YES NO

問1 1 教育支援
 計画

①	②	無回答	計
96	6	3	105

YES NO

副問1 1-1 定
 期的見直し

①	②	無回答	計
88	7	1	96

YES NO

副問1 1-2 本
 人・家族が意見

①	②	無回答	計
81	12	3	96

YES NO わからない

問1 2 専門手法

①	②	③	無回答	計
66	22	14	3	105

	TEACCH ABA	PECS	感覚統合療法	SST	動作法	その他	よくわからない			
副問1 2-1 専門手法の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
	28	22	8	16	61	24	6	1	0	166

その他
 コグトレ(4)
 クールダウン
 アセス SEL-S
 論語

	予定あり	予定なし	希望だがどうすれば	無回答	計
副問1 2-2 専門手法予定	①	②	③		
	3	11	8	0	22

	YES	NO	無回答	計
問1 3 強度支援	①	②		
	33	65	7	105

	予定あり	予定なし	希望だがどうすれば	無回答	計
副問1 3-1 強度支援予定	①	②	③		
	2	55	7	1	65

	大声奇声	自傷	破壊	他害	多動	停止反復	昼夜逆転	異食	排尿排便	その他	無回答	計
問1 4 困る行動	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
	27	11	21	17	23	12	5	2	1	1	2	122

その他 悪態をついたり、わざと逆のことをして気を引こうとする。挑戦性反抗障害の症状。

	YES	NO		
問15 強度手立て	①	②	無回答	計
	31	1	1	33

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
副問15-1 強度手立て種類	29	27	30	14	10	13	13	17	7	24

スケジュール・カレンダーで提示 予定変更の事前確認 理解できる方法で意思確認 コミュカド'等で本人が伝達 コミュカド'等で本人に伝達 場所の区分 手順表 イヤーマフ等 トークンシステム カムダウエリア

	⑪	⑫	⑬	無回答	計
性別・年齢に合わせた対応	14	8	1	0	207

接触回避 その他

その他 支援員の配置

	YES	NO		
副問15-2 強度ツール	①	②	無回答	計
	30	0	1	31

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	計
副問15-2-1 強度ツール種類	18	10	24	20	4	0	28	15	1	0	0	120

コミュカド' 筆談用紙 スケジュールボード等 スマホ・タブレット PC VOCA タイムタイマー イヤーマフ サングラス その他

その他

	YES	NO		
副問15-3 強度手立て難しさ	①	②	無回答	計
	27	4	0	31

副問15-3-1 どのようなことに難しさ	正しいやり方不明 相談・指導者不在 毎日は億劫 準備時間ない 行動変化なく効果不明 他の人と違うのは抵抗 話しても伝わらず気が進まない 本人嫌がる その他										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
	10	4	3	8	10	3	1	5	4	1	49

その他	保護者の家庭での対応について改善を図ることが難しい。
	他の児童の邪魔をする 本人が先生を独り占めしてしまい、他の児童の指導ができなくなる
	愛着形成に課題を抱えている可能性が高く、1対1になりたがる。ほかの児童へ指導に行くと音立てや不機嫌が表出することがある
	その時々でうまくいく場合とうまくいかない場合がある
	他の児童の指導もあり、即時に対応できない時が多い。
	保護者との連携が難しい。

	YES	NO		
問16 過去1年のパニック	①	②	無回答	計
	19	12	2	33

大声奇声 自傷 破壊 他害 多動 停止反復 昼夜逆転 異食 排尿排便 その他

副問16-1 パニックの状態	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	計
	18	10	14	10	10	7	4	0	0	2	0	75

その他
失神、意識消失
学校外へ出る。

YES NO

副問16-2 パニック理由判明	①	②	無回答	計
	18	1	0	19

急な予定変更 言いたい事伝わらず 要求通らず 相手の行動期待外 相手の言う事分からず 不快な感覚 苦手頑張り疲れ 嫌な体験思出す その他

副問16-2-1 パニック理由の内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
	2	8	17	10	5	8	2	8	3	0	63

その他
わからないこともある。
家族の本人への不適切な対応
母親との接触が少ない日が重なると不安定になる。

静かな別の部屋 家族が本人から距離を置く ツールを渡す 苦手な刺激止める 頓服薬 本人の要求受入れ 身体抑制 警察 家庭引取り 精神科緊急入院

副問16-3 収まる方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	18	2	6	1	1	1	8	0	4	1

短期入所 その他

⑪	⑫	無回答	計
0	1	0	43

その他 学校から家庭訪問し、対応支援にあたった。

YES NO

問17 強度研修

①	②	無回答	計
2	31	0	33

支援者養成 つばさ主催 つばさ機関
研修 研修 コンサル その他

副問17-1 強度研修内容

①	②	③	④	無回答	計
0	1	0	1	0	2

その他 肥前精神医療センター精神看護研修

グループ

精神科病院 短期入所受 ホーム等地 居宅介護等 定期的コン 複数機関と 個室確保・整 人員増・雇用 人材育成研
受け入れ先 け入れ先 域の暮らし の在宅支援 サル 家族の連携 備 確保 修
の場

問18 必要な支援体制

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
5	8	2	3	13	19	11	18	8	5	92

ご意見・ご要望
について

本校には、強度行動障害のある児童の在籍がないため途中の質問が未記入です。

本校には、強度行動障害のある児童は在籍ないです。発達障害に関する研修がもっとあるといいなと思います。

教育力の著しく低い家庭がある。その家庭は、児童の心身の健康に留意して養育することが難しい。これまでに学校、SSW、医療、子ども総合センター、区役所、相談支援事業所、ヘルパーステーション等に加え、児童の友人の力も借りながら様々な人々が関わり、6年間かけて支援と改善を図ってきたが、思うように改善を図ることができていない。子ども総合センター等が、家庭へ介入を図るタイミングを早めることはできないだろうかと切に願う。子どもの権利を守るためにもっと動いてほしいというのが、本学校としての意見である。

発達外来をしている病院の情報（市内）などを伝えるHPなどがあると嬉しいです。

発達障害者支援を行うにあたって、人材や環境が必要だと感じます。必要な支援を行うためには、接する大人である保護者、教職員に知識とツールとゆとりが必要です。また、児童同士においても同様で、自分自身にゆとりがない児童は、自分自身にも他者に対しても受容的にはなれません。自治体や、地域、個々の学校によって、発達障害者をとりまく環境が異なることも残念です。すべての学校に自閉症・情緒障害の特別支援学級があり、児童や保護者が選べる環境が必要だと考えます。また、通常の学級、学校ですべての児童を受け入れるならば、多くの環境整備や人材の確保・育成をするべきだと思います。

通常学級の教員の特別支援教育に対する理解が乏しく、支援学級の教員は肩身の狭い思いをしています。

情緒障害学級の学習カリキュラムは基本的に当該学年の学習をカリキュラム通り行うこととなっているが、学力に課題を抱えている児童が多く、LDも併せもっている児童が在籍しているため、実態によって学習における柔軟的な措置ができるようにしてもらいたい（今もある程度対応はできるが、当該学年の履修項目もこなすため、できないことに児童が自尊心を低下させやすい。）また、自閉症の特性とは別に愛着形成不全のため不適応行動が表れている児童も多くみられ、この場合自傷・他害行動が出る事が多く、集団や強い刺激に弱い特性を持って支援学級に在籍している別の自閉症の児童はかえって支援学級に在籍することでパニックを誘発することがある。補助職員の配置をお願いしたい。

問に回答しにくい。発達障害のあると思われる児童は、診断を受けた児童もいるし受けていない児童もいる。状況が把握できている子もいるし、できていない子もいる。検査を受けている子もいるし受けていない子もいる。強度行動障害のある子への支援を行っていないで回答したが、対象者がいないため行っていないのであって、対象者いれば当然行う。

特別支援学級を希望している児童が複数いても、学校に新設されなかったり、近隣の特別支援学級の人数がいっぱいで入れなかったりしている状況です。通常級で個別の支援を求められ、職員が対応に追われています。この状況を早急に改善していただきたいです。

一人に対応している間に他の児童の教育時間を確保するのが難しく、毎回「不安定になったときは、その状況をインターフォンで管理職に連絡する」ことで、あとは本人が落ち着くのをまっていた。日々の様子は管理職に報告しているが、担任一人での対応は厳しいと感じている。

発達障害をひとくくりにせず、困難な傾向を把握、アセスメントを行ってから、クラス分けなどでき、それに対応する人員や部屋の確保が必要と感じる。また、社会的に学習だけが必要スキルではなく、この子たちが生きていくために必要なものは何か保護者も理解し、社会も理解していくシステムが重要だと思う。

・このようなアンケートで自らの立場すべきことを改めて教えて頂きました。具体的行動（まずはコミュニケーションカードをオーダーメイドで作る）を、目の前の児童の分から行っていきます。